

地域協働学校だより No.11

令和6年2月21日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

第9回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、下記の通り、ご報告いたします。

- 日時 令和6年2月13日(火) 16時～17時
- 場所 市谷小学校 校長室

1. 代表より

受験シーズンも終わり、6年生の姿をよく見るようになった。もうすぐ卒業なので楽しい思い出を作って欲しい。この協議会もあと2回、よろしくお願ひしたい。

2. 学校長より

教育活動へのご理解ご協力に感謝申し上げる。今の学年・学級で過ごすのもあと1ヶ月半程でまとめの時期になった。先日の降雪の際、高学年・中学年が第一校庭・第二校庭の雪かきをし、翌日からは校庭が使用できるようになり皆のために働くという良い経験ができたと思う。

3. 学校からの報告

副校長より1月、2月の教育活動と今後の予定についての報告。

4. 地域連携事業について

- ・2年生活科「まちたんけん」、「九九検定」－まちたんけんのグループ発表会及び九九の定着度の報告。
- ・5年環境学習「自分たちが暮らす環境を守る取組」－1月18日(木)実施のスズキ株式会社出前授業を含め、1年間の取組みについて子ども達の作成したPowerPointで報告。
- ・6年キャリア教育「働くって何だろう」－3月15日(金)5、6校時、スポーツ関係者、警察官、医師、テーマパーク関係者(ダンサー)の4名の方にご講義いただく予定。子ども達は将来の夢、職業について課題設定して取り組んでおり一人ずつPowerPointを作成し、後日発表会を行いたい。

5. 学校評価について

前回の学校評価アンケートによる結果報告を基に協議会委員による成果と課題及び評価を行った。タブレットの活用方法と効果、来校者チェックの徹底、プール授業中止時の体育について等、意見があった。

6. 来年度について

来年度の委員について、数名入替わりを予定。

7. 意見交換

津吹委員 災害の際、自助・共助・公助、地域の連携が大切。地域協働学校でも議論をしてもよいのではないと思う。放火が増えているのでお気を付けいただきたい。

池田委員 3月1日より図書ボランティアの読み聞かせを再開予定。

西村副代表 みどりのボランティア、飼育栽培委員との植替えは降雪のため中止し大人のみで実施。

『ビオラ、ルピナス、アネモネ、サクラソウなどを植えました。チューリップも芽吹きました。新年度に向けて春のお花をお楽しみください。』

教育委員会 明石先生 小P連と共催の卓球大会、市谷小は3位入賞。元気はつらつとしたプレイは子ども達にも伝わると思う。今後も元気な子ども達の見守り、ご支援をお願いしたい。(副校長先生代読)

副校長先生 地域協働学校にかかる消耗品、必要なものは次回までにご連絡いただきたい。

1月18日(木) 3校時 5年生環境学習(SDGs) 出前授業が行われました!

今回は、SDGsに対する企業の取組み事例として、スズキ株式会社マリン事業本部マリン技術部の白尾 文香(しらお あやか)さん、株式会社スズキマリン関東営業所の西田 樹生(にしだ みきお) 所長さんにお越しいただき、「海洋プラスチックごみと私たちにできること」というタイトルで講義をしていただきました。

○船外機とは

スズキ株式会社で製造している商品から、船外機(様々な用途の船や小型ボートに取り付け、取り外し可能な推進機関)の紹介、開発から製造に至るまでの工程について動画によるプレゼンを聞きました。

○海洋プラスチックごみとは

私たちが日常生活で使用したプラスチック製品がポイ捨てや台風等の荒天によりきちんと処理されず海へ流れ着いてしまったごみのことで、世界の海に1億5000万トンも浮遊しており大きな環境問題となっています。その海洋プラスチックごみが劣化し、砕け、削れ、5mm以下の大きさになったものをマイクロプラスチックと言い、魚が食べてしまうことで人間にも影響が及ぶことが懸念されているという話を聞きました。

○スズキの取組み

スズキ株式会社では、SDGsの17のゴールから「12 つくる責任つかう責任」と「14 海の豊かさを守ろう」に向け「スズキオーシャンプロジェクト」を立ち上げ、世界中の海をきれいにしていくために主に下記3つの取組を実施しているそうです。

- ① 海、河川及び湖沼でボランティアの清掃活動を実施
- ② 船外機の製品や部品の梱包資材からのプラスチック削減
- ③ 船外機に取り付け可能なマイクロプラスチック回収装置の開発

○わたしたちにできること

海洋プラスチックごみが増えないように日常生活でのプラスチック製品の使用を少なくすることや、使用した後にリサイクルかごみとして分別することが重要だということでした。

5年生の皆さんからの質問では「船外機で回収したマイクロプラスチックはどうするのか?」「船外機はCO2を排出しないのか?」「他にも環境に良い製品開発をしているのか?」などたくさんの質問があり、環境問題や企業の取組みに対する児童の関心の高さが見られました。



地域協働学校だよりの最新版は市谷小のホームページのトップページ、バックナンバーは以下の URL から
<https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou.html>

